

令和5年度 第1学年 音楽 評価規準

江戸川区立大杉第二小学校

1年 p. 2～15

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜導入＞ どんな うたが あるかな ～ 「かたつむり」 (7時間扱い・4～5月) ※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材	知識	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	＜知-①＞ 「ひらいた ひらいた」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ＜知-②＞ 「かたつむり」の曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 範唱を聴いて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	＜思-①＞ 「ゴー アンド ストップ」の、拍やその流れ、速度や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 ＜思-②＞ 「かもつれっしゃ」の拍や速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ＜思-③＞ それぞれの音楽の、拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。	○			○
	主体的に学習に取り組む態度	友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 友達と一緒に歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 ＜主-②＞ 友達と一緒にわらべうたを歌ったり、うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

※1年〈導入〉部分の評価については、全学年の評価規準と同様の表記に統一しているが、入学直後の児童の状態を把握していきながら、緩やかに指導を進めていくことが肝要である。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
リズムと なかよし (6 時間扱い・6～7 月)	知識	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付く。	曲想と、リズムやその反復など音楽の構造との関わりについて気付く。				○
	技能	互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	互いの声や音、伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	
	思考・判断・表現	リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにリズムをつくるかについて思いをもっている。	リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにリズムをつくるかについて思いをもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	4 分音符や 4 分休符、8 分音符から成るリズムやその表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ことばの リズムで あそぼう (2 時間扱い・7 月)	知識	言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	〈知-①〉 言葉とリズムとの関わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定した条件に基づいて即興的に音を選んだり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付ける。	〈技-①〉 設定した条件に基づいて即興的に音を選んだり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びから音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったりする。	〈思-①〉 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びから音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていかにについて思いをもったりする。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉とリズムの関わりや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 言葉とリズムの関わりや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
<にっぽんのうた みんなのうた> 「うみ」(共通教材) (2 時間扱い・7 月)	知識	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	＜知-①＞ 「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	○			
	技能	自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 「うみ」を、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「うみ」の拍やその流れ、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「うみ」の歌詞の、情景や気持ちを歌で表すことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
どれみと なかよし (4 時間扱い・9 月)	知識	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と音階など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	技能	階名で模唱したり暗唱したり、音高に合わせて体を動かしたりする技能を身に付ける。	階名で模唱したり暗唱したり、音高に合わせて体を動かしたりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	階名と音高との関わりを感じて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	階名と音高との関わりを感じて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜こんにちは けんぱんハーモニカ＞ (2 時間＋毎時 9～10 月)	知識	鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	＜知-①＞ 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	技能	鍵盤ハーモニカの扱い方やドレミファソの鍵盤の位置、息の遣い方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付ける。	＜技-①＞ 「ど」の鍵盤の位置、息の遣い方など基礎的な演奏技能を身に付けている。 ＜技-②＞ 鍵盤ハーモニカの扱い方や「どれみふあそ」の鍵盤の位置、息の遣い方など基礎的な演奏技能や、リズム譜などを見て演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「まほうのど」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 鍵盤ハーモニカによる表現に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
もりあがりを かんじて (2 時間扱い・10 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付く。	○			
	技能	階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	旋律の流れや音階を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	歌詞の表す情景を想像することや、旋律の特徴を捉えることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
いい おと みつけて (7 時間扱い・11～12 月)	知識	さまざまな音の特徴、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	さまざまな音の特徴、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。	楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。			○	○
	主体的に学習に取り組む態度	自分や友達の出す音や、その違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	自分や友達の出す音や、その違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう (3 時間扱い・12 月)	知識	音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付く。	〈知-①〉 音高や強弱、声の出し方の変化による表現の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 設定した条件に基づいて即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能や、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	高さや強さなど多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。	〈思-①〉 高さや強さなど多様な声の出し方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、声による音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 声による多様な表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
きょくの ながれ (3時間扱い・1月)	知識	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	聞こえてくる音、旋律の変化、拍やその流れに合わせて体を動かすことや、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	聞こえてくる音、旋律の変化、拍やその流れに合わせて体を動かすことや、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
＜めざせ がっきめいじん＞ 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	知識	曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付く。	＜知-①＞ 「すずめがちゅん」の曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。		○		
	技能	範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。	＜技-①＞ 「すずめがちゅん」の範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。	＜思-①＞ 「すずめがちゅん」の旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「すずめがちゅん」を楽器で演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽鑑賞
うたで まねっこ (4 時間扱い・1～2 月)	知識	曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○		
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付けている。	○		
	思考・判断・表現	歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。	歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	○		
	主体的に学習に取り組む態度	交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽鑑賞
みんなで あわせて (3 時間扱い・2～3 月)	知識	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付く。	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○		
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能や、拍に合わせリズムを重ねて遊ぶ技能を身に付けている。	○		○
	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍、楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	旋律やリズム、拍、楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。			○
	主体的に学習に取り組む態度	聞こえてくる音やリズムに合わせて体を動かすことや、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	聞こえてくる音やリズムに合わせて体を動かすことや、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくをつくろう (4 時間扱い・3 月)	知識	旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付く。	〈知-①〉 つくった旋律の特徴について、それが生み出す面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 設定された条件に基づいて即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつなげたり重ねたりして簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。	〈思-①〉 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	短い旋律をつくったり、それをつなげたり重ねたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 短い旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目